公表　事業所における自己評価総括表（保訪）

○事業所名	まんまるカチカチ			
○保護者評価実施期間	2026年　11月 1日	～	2025年　11月　28日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）		（回答数）	
○従業者評価実施期間	2025年　11月　17日	～	2025年　11月　28日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	3	（回答数）	3
○訪問先施設評価実施期間	2025年　11月　1日	～	2025年　12月　28日	
○訪問先施設評価有効回答数	（対象数）		（回答数）	
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　2月　20日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・訪問先での苦手な場面や課題となっていることを、療育の内容に取り入れることができます。	・職員会議の場で、訪問時の様子や訪問先での課題について情報共有を行い、必要に応じて、個別療育で練習したりソーシャルスキルトレーニングを行ったりしています。 ・行事の練習など、特定の場面で支援が必要な場合には、訪問先と連携して、療育の中でも同じ指導方法で練習を行い、訪問先での活動参加に活せるよう取り組んでいます。	・スモールステップでの取り組みなど、療育でどのような支援を行うと効果的だったか、どのような部分が課題か、等を訪問先の先生方と共有し合い、よりよい支援につなげていきたいと思います。
2	・訪問先、ご家族、事業所間で、お子さまの様子や必要な情報を相互に共有することができます。	・訪問先でのお子さまの様子をご家族の方に伝える、ご家族からお聞きした様子を訪問先と共有する、訪問中に気づいたことについて訪問先、ご家族、事業所で共通理解を行う等、各所が連携してお子さまを支援できるよう、考え方や取り組みについて共有しています。	・訪問先やご家族との連携を密に行い、より良い関係を継続させていきたいと思います。
3	・お子さまへの支援だけでなくご家族の方との連携についても、訪問先と同じ方向性で取り組むことができます。	・お子さまへのより良い支援のために、ご家族の方とも良い関係を築いていくための橋渡しとなるよう、守秘義務に配慮しながら、訪問先の先生方と連携して取り組んでいます。	・日頃から信頼関係を築くことができるよう努め、相談しやすい雰囲気づくりを心掛けていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・訪問の頻度や支援内容について、ご家族、訪問先との共通理解が十分でない場合があります。	・訪問支援開始時や新年度の訪問時には、訪問頻度や支援内容について、ご家族、訪問先と相談していますが、その後のニーズの変化に十分に対応できていない場合がありました。	・お子さまの様子の変化や、それに伴うニーズの変化に早く気付いて対応できるよう、日頃から相談しやすい雰囲気を作り情報共有を行っていきます。
2	・訪問先での困りごとについて、効果的な解決策を提案することが難しい場合があります。	・訪問先での課題や問題となっている出来事について、情報共有や解決に向けての話し合いを行ってきましたが、目に見える改善は難しいケースもありました。	・困りごとの背景や要因、そのお子さまにとっての意味等を、訪問先の先生方と共通理解できるよう努めます。すぐに改善させることは難しい場合もあると思いますが、訪問先での生活が少しでもスムーズに進むよう、取り組めることを検討していきます。
3			

公表　保護者からの事業所評価の集計結果（保訪）

公表日　2026年 3月 1日

事業所名	まんまるカチカチ

利用児童数　18　回収数　16

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
訪問支援導入部分	1	保育所等訪問支援（以下、訪問と記載）のパンフレットをもとに説明した内容は分かりやすかったですか？	16				
	2	説明された内容と実際の訪問に違いやズレなどは見られましたでしょうか？もし違いがあるようであれば教えてください。	5	1	10	・運動会や発表会の練習共有の様な事はありませんでしたが、困り感の所に寄り添って頂き、園と協働して頂いております事、感謝です。	支援が必要な行事や練習があれば、訪問できるよう、担任の先生や保護者様との情報共有に努めてまいります。
	3	訪問先に対する保護者の想いやお子さんが併行利用されている事業所さんの想いなど、必要に応じて聞き取りを行うことはご迷惑ではなかったですか？	14	1	1		
支援計画	4	計画を確認する際に、見やすく分かりやすいように整理されていましたか？	16				
	5	計画に記載されていた内容全般において、細かすぎたり偏っていたりしていませんか？	14		2		
	6	計画に記載された内容に専門用語が使われていたり、分かりにくい表現はなかったですか？	15		1		
	7	お子さんの想いや保護者の意見が反映された計画内容になっていたでしょうか？	16				
訪問	8	普段生活されている領域に入り込み、実際に直接お子さんに支援する機会はお子さんにとって有益でしたか？	15	1		・保護者やこども園の先生にとっても有益でした。	
報告について	9	保護者に訪問支援の報告を行う際に、対面式や配布式でお子さんの様子や支援の様子をお伝えしています。報告の方法は適切でしたか？	15	1			
	10	対面式でご報告する際の時間や報告内容は適切でしたか？	15	1			
	11	ご報告の中にお子さんの訪問先での様子を記載していますが、イメージを持つことはできましたか？	15	1			
	12	ご報告の中に難しい専門用語や分かりにくい表現は使われていませんでしたか？	15	1			
	13	実際に訪問を利用してみて、満足していますか？	14	2		・いろんな場面で娘の姿をみて下さり、ありがたいです。	
	14	訪問に期待する点があれば教えてください。				・いろんな場面を見てほしい。 ・担任の先生が本人の対応で困っていたり、悩んでいる部分が少なからずあると思うので、一緒に相談していただけるのがいいかと思います。 ・園での困り事の解決。 ・今まで通り、本人の不安、困り感の傍らに居て下さること、と、園との協働、共有、お願い申し上げます。	・色々な場面を見させていただけるよう、訪問先の先生と相談していきたいと思います。
	15	訪問について、不安な点や疑問点があれば教えてください。					

その他	16	訪問について、全般的にご意見ご感想などがあれば教えてください。				・いつも、わかりやすくていねいに伝えていただけるので、学校での様子がわかりやすくて助かっています。 ・いつも週一で学校に訪問に行ってくださり、ありがとうございます。むすめの学校でのようすが詳しく知ることができて、嬉しいです。 ・いつもお世話になります。帰りの迎えを祖母に頼んでいる為、担任の先生に園での様子をなかなか聞く機会がなかったのですが、保訪を利用させてもらい、より園での様子が分かるようになりました。 ・出来ない所はしっかりとフォローしていただけているので助かります。本人が出来るようになった！！と帰ってくるのが、とても嬉しいです。ありがとうございます。 ・園の先生からも好評です。ありがとうございます。 ・私達親子のみならず、児発の専門家でないこども園の先生方にとっても、相談、共有の役割を担って下さっている	

公表　訪問先施設からの事業所評価の集計結果（保訪）

事業所名
まんまるカチカチ

公表日　2026 年 3 月 1 日

訪問先施設数　15　回収数　14

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	未回答	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1	保育所等訪問支援（以下、訪問と記載）の頻度は適切だと思いますか？	13	1			・少し頻度を下げてもよいかなと思います（2か月に1回など）。 ・本児の状態に合わせて頻度の相談ができました。	何を目的に訪問するかをしっかりと共有した上で、頻度についても必要に応じて検討していきたいと思います。
2	訪問の内容は適切だと思いますか？	12	2			・いつも大荒れのところを、すみません。	効果的な支援につながるよう、訪問のタイミング等検討していきます。
3	訪問者は、お子様にあった支援を先生に提案していますか？	12	2				振り返りや情報共有を十分に行い、担任の先生の意向も確認しながら、適切な支援を提案していきたいと思います。
4	園とまんまるカチカチとの間で、情報共有と相互理解に努めていると思いますか？	14					
5	園と家族のニーズや課題が客観的に分析されたうえで、支援計画が作成されていると思いますか？	14					
6	訪問を利用することで、お子さんの園での生活に役に立っていると感じますか？	10	4			・色々と相談したり、状況の共有をしたりはできるが、なかなか園生活で改善したり達成したりが難しかったりすると思う。 ・本児への接し方で、私は話しすぎていたと気付きました。	園生活の中で困っていることや、それに対する具体的な対応策など、ポイントを絞って話し合いを行い、改善につながるよう努めてまいります。
7	訪問を利用したことで、お子さんを取り巻く環境（園、家庭、事業所など）が連携できたと感じますか？	12	2				家庭と園との連携がよりスムーズになるよう、努めてまいります。。
8	訪問と児童発達支援を併用する事で、お子さんの成長につながったと感じますか？	11	3				併用するとお子さんが成長したと思っていただけるように、努めてまいります。

9	お子さんの様子の振り返りや今後の方向性などについて丁寧な説明がなされていますか？	13	1				毎回の訪問時に、話合いをするタイミングを確認し、その場で難しい場合は電話等で対応していきたいと思います。
10	日頃からお子さんの状況をご家族、園と伝えあい、お子さんの発達の状況や課題について共通理解できていると思いますか？	14					
11	訪問者は先生に対して、支援内容に関する助言等の支援ができていますか？	11	3				お子様の療育内容を伝えたり、療育的視点から、訪問先でも取り入れられる支援方法を一緒に考えたりお伝えしていけるよう努めてまいります。
12	先生方からの苦情に対して、対応の体勢を整備し、先生方に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していますか？	4	7		3	・特に苦情はないため、空欄にしています。 ・苦情がないのでどちらとも言えないです。 ・苦情はないので、対応についてはよく分かりません。 ・苦情を出したことがない為分かりません。 ・本児が落ちついており、苦情等はありません。 ・苦情は伝えていません。	苦情があった場合は、迅速に対応、改善するよう努めてまいります。
13	訪問者は先生方からの質問に対して親身になり、責任をもって対応していると感じますか？	14					
14	訪問者は、普段から気軽に相談できる雰囲気になっていますか？	13	1				日頃から信頼関係を築くことができるよう努め、相談しやすい雰囲気づくりを心掛けていきます。
15	訪問者の言葉遣いは適切ですか？	14					
16	訪問者の電話対応は丁寧にできていますか？	14					

その他のご意見	ご意見を踏まえた対応
・園での対応に困ったことを、まんまるさんでもしているやり方など教えていただき、参考にさせていただいています。 ・（療育）担当の先生も定期的に訪問してくださったら、より話し合いが深まりそうだと思いました（「また聞いてみます」「伝えておきます」が多く感じたので）。 ・いつも本児の支援を一緒に考えて頂き、ありがとうございます。 ・お世話になります。就学に向けて、情報交換や、対応や支援についての共通理解ができ、保育の参考になります。ありがとうございます。また保護者へのフォローを丁寧にしてくださり、助かっています。 ・いつも適切な距離をとったり、関わったりして下さって、ありがとうございます。就学まで引き続き、よろしくお願い致します。 ・いつもお世話になり、ありがとうございます。 ・入学後の様子、行事の前後など、訪問の時期についてポイントを絞って下さったり、相談して下さり、効果的でした。まんまるカチカチでの様子も教えて頂き、参考になりました。 ・いつもありがとうございます。親身に相談に乗ってくださり助かっています。 ・いつも親身になって話をして下さり、ありがとうございます。子どもたちの療育の様子や課題など、しっかりと共有でき、園でも役立てることができているので助かります。今後ともよろしくお願いいたします。	・いろいろな支援者からの視点が必要と考え、敢えて担当とは違う支援者が訪問しています。要望があれば、担当も一緒に訪問することも可能です。 ・支援の目的を十分に共有し、支援を行っていきたいと思います。 ・お子様の課題場面に立ち会い支援を行えるよう、園生活の流れや行事等も考慮し、訪問のタイミングや頻度について検討していきたいと思います。 ・それぞれの園や担任の先生から支援方法の要望を十分に聞き取り、必要があれば見直しも検討し、適切な支援を考えていきたいと思います。 ・毎回の訪問時の情報共有や振り返りを丁寧に行い、園生活や家庭との連携に有益な訪問となるよう、努めていきたいと思います。

公表　事業所における自己評価結果（保訪）

事業所名	まんまるカチカチ

公表日　2026 年 3 月 1 日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点
環境・体制整備・運営・	1	訪問支援に使用する場合の教具教材は適切であるか。	3	0	教具教材を使用しない場合の方が多いですが、必要に応じて、教具を準備しています。	
	2	利用希望者に対して、職員の配置数は適切であるか。	3	0	保護者様からの利用希望に対応できるよう、職員を配置しています。	
業務改善	3	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	3	0	訪問前に職員同士で状況把握や目標の確認を行い、訪問後には会議で支援内容の報告と振り返りを行い、PDCAサイクルに参画しています。	
	4	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3	0	毎年、保護者による評価を実施し、改善すべき点を全職員による会議で話し合っています。	
	5	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか 。	3	0	意見を発言しやすいように、日頃からしっかりとコミュニケーションをとるように心がけ、報告・相談・共有・話し合いをし、業務改善できるよう取り組んでいます。	
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	3	毎年、保護者様による評価は実施しています。（専門家の第三者による外部評価は受けていないです。）	
	7	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3	0	それぞれの職員が研修を受講する機会を確保し、随時、研修を受講した職員は、他職員と全体会議で情報共有を行っています。また、事業所内でも適宜職員研修を開催しています。	
適切な支援の提供	8	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、保育所等訪問支援計画を作成しているか。	3	0	太田ステージ等の検査や他機関の検査結果等を用い、児童発達支援管理責任者と職員で適宜話し合いを行い、支援計画の作成を行っています。	
	9	保育所等訪問支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか 。	3	0	児童発達管理責任者、訪問担当職員、療育担当職員、自由遊び担当職員、心理師等で会議や話し合いを実施し、共通理解のもと検討を行っています。	
	10	保育所等訪問支援計画を作成する際には、訪問先施設の担当者等と連携し、訪問先施設や担任等の意向を盛り込んでいるか。	3	0	計画作成や見直しの際には、訪問先施設の担当者様や担任の先生からお話を伺い、共通理解を行うと共に、意向を盛り込んでいます。	
	11	保育所等訪問支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	3	0	会議で支援計画を共有し、総合的な支援の方針・長期目標・短期目標を立て、スモールステップで取り組んでいます。今後も、常に計画に沿った支援が行われているかを振り返っていきます。	
	12	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3	0	ECBI（アイバーグ子どもの行動評価尺度）等を、必要に応じて行っています。また、他機関で行った検査結果も保護者様に随時提出していただいています。	
	13	保育所等訪問支援計画には、保育所等訪問支援ガイドラインの「保育所等訪問支援の具体的内容」も踏まえながら、具体的な支援内容が設定されているか。	3	0	お子様や保護者様のニーズに合わせ、ガイドラインの内容も踏まえながら、分かりやすくかつ具体的な支援内容を設定しています。	
	14	支援開始前には関係職員間で打合せを行い、その日行われる支援の内容や、今行っている療育について確認し、職員間で連携して支援を行っているか。	3	0	支援開始前には関係職員間で情報共有を行い、よりよい支援が行えるように取り組んでいます。	
	15	支援終了後には、職員間で必ず報告を行い、気付いた点等を共有しているか。	3	0	支援終了後には職員同士で、その日の支援の振り返りを行い、次回の留意点等の情報共有を行っています。	
	16	保育所等訪問支援を実施する際、訪問先の理念や支援手法を尊重して支援を行っているか。	3	0	必要に応じて訪問先の支援手法を伺いながら支援を行っています。	

	17	毎回の支援に関して、記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3	0	訪問後は必ず、お子様の様子や支援の仕方、先生と情報共有した内容等を記録に残し、支援の検証・改善に繋がるようにしています。	
	18	定期的に保護者や訪問先の意向の確認やモニタリングを行い、保育所等訪問支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3	0	定期的にモニタリングを行い、必要に応じて訪問時にもお話を伺い、見直しの必要性を判断しています。	
関係機関や保護者との連携	19	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3	0	児童発達支援管理責任者および担当スタッフが参画しています。担当スタッフが参画できない場合は、事前に児童発達支援管理責任者と担当スタッフが打ち合わせを行い、児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	20	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3	0	全てのお子様の関連機関との連携には至っていませんが、保護者様のご要望や必要に応じて、連携して支援を行っています。	
	21	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	0	保護者様からの要望や必要に応じて、児童発達支援事業と共に、学校と支援会議・文章・電話等で、情報共有・相互理解に努めています。	
	22	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等に助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。	3	0	それぞれの職員が研修を受講する機会を確保し、随時、研修を受講した職員は、他職員と全体会議で情報共有を行っています。	
	23	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。	3	0	こども支援部会等に参加しています。	
	24	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3	0	訪問支援の報告時や療育の送迎時に、園や家庭での様子等の聞き取りを行い、保護者様の話や悩み事等をお聴きしています。	
保護者等への説明等	25	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3	0	契約時に、利用契約書、重要事項説明書の説明とともに、説明を行っています。保護者様からのご質問があれば、適宜丁寧に対応しています。	
	26	訪問先施設に対し、事業の趣旨や訪問支援の目的等について適切に説明を行っているか。	3	0	訪問開始時に、事業の趣旨や訪問支援の目的等について、訪問先施設に説明を行っています。	
	27	保育所等訪問支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや保護者の意向を確認する機会を設けているか 。	3	0	支援計画作成時には、事前に必ず面談を行っています。保護者様やお子様の意思を尊重するとともに、訪問先の意向も踏まえて作成しています。	
	28	「保育所等訪問支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から保育所等訪問支援計画の同意を得ているか。	3	0	支援計画の説明時に、支援内容の説明を行い、保護者様からの同意を得ています。	
	29	定期的に、保護者等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか。	3	0	送迎時に最近の様子等をお伺いしています。その中で、相談や申し入れがあった場合は、その場でお話を伺ったり、別日に面談、電話での対応、家庭訪問等させていただいています。	
	30	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3	0	保育所等訪問支援事業のみの利用はないので、児童発達支援事業、放課後等デイサービス事業の夏祭りの後に年1回保護者会を行っています。	
	31	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3	0	苦情があった場合には、職員間で共有、改善方法の話し合いをし、迅速に対応しています。	
	32	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3	0	掲示やお手紙でお知らせしています。また、HPやInstagramにも掲載し、お子さまやご家族の方に見てもらえるように努めています。	
	33	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3	0	十分注意しています。外部との連携の際、事前に必ず保護者様の同意を得てから情報共有を行っています。	
	34	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3	0	信頼関係を築いたうえで、聴覚障害のあるお子さんや保護者の方には簡単な手話を使ったり、個々に分かりやすい方法で情報伝達を行い、より丁寧な対応を行うよう配慮しています。	
訪問	35	訪問支援に加え、訪問先からの相談等に適切に応じる体制を整え、必要な助言や支援を行っているか。	3	0	訪問時や電話での情報共有時に、必要に応じて相談等をお受けし、助言や支援を行っています。	

問先施設への説明等	36	保育所等訪問支援の実施後に、訪問先施設とカンファレンスを行っているか。	3	0	訪問支援終了後に話し合いを行い、その日の活動や支援について共通理解を行っています。時間が取れないときは、電話でのカンファレンスを行っています。	
	37	保育所等訪問支援の実施後に、保護者等へ適切に支援内容等の共有を行っているか。	3	0	訪問時の支援内容を、文書での報告と共に、保護者様の希望に応じて口頭または電話で報告させて頂いています。	
	38	訪問先施設からの相談に適切に応じ、信頼関係を築きながら、専門的な助言を行っているか。	3	0	相談があれば、その都度お話を伺い、その場で助言を行ったり、職員間での検討の上で適切な助言を行っています。	
非常時等の対応	39	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3	0	マニュアルの策定を行い、自由に閲覧できるよう玄関に置いています。	
	40	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3	0	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練に取り組んでいます。	
	41	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3	0	ヒヤリハットが起こった時には、確認・記録をし迅速に対応した後、全体会議において全職員に周知し再発防止に向け話し合いを行います。	
	42	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3	0	研修を受けた職員が、施設内で他職員に向けて研修を実施しています。	
	43	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	0	契約時に、必ず保護者様に説明し同意は得ていますが、現在のところ、身体拘束は行っていない状況です。	